

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 会場見直しについて(バレーボール・車椅子バスケットボール会場)

会場見直しについて

○ ボート・カヌー(スプリント)会場

- ・ 海の森水上競技場で、当初案から整備レベルを変更し、整備費を縮減して整備する(スマート案)。

※ 宮城県長沼ボート場については、事前キャンプ地として活用

○ 水泳会場

- ・ オリンピックアクアティクスセンターを、現計画地において、当初の2万席規模を1万5千席規模に縮小して新設し、大会後の減築は行わない。

○ バレーボール・車椅子バスケットボール会場

- ・ 有明アリーナを整備する。
- ・ 運営に当たってはコンセッション方式の導入を検討

※ 将来のために必要な投資については、さらに精査する。

○ 今後の予定

平成28年12月21日(水)開催予定の四者協議において、バレーボール・車椅子バスケットボール会場を有明アリーナとする都としての案を報告